

## 新職員のページ

今月号と来月号にわたって、統計課の新入生を皆さんに紹介します。皆さん、顔はどうでもいいですが、文才の方はどうしてどうしてですぞ。

では先輩の皆様方、どうぞよろしくお願い致します。



### ある風景

課長補佐  
黒 沢 博

#### 王 者

某月某日。舟で川を上下しながら、水面を竿でたたき、魚を深みに寄せる。頃合いをみてヤスを構え、箱眼鏡を使って水中をのぞきながら、勝手知った場所の魚影を追う。フナ、ナマズなど数匹とる。

水深3.4メートルのよく大物のいるところに来て、川に抜いかぶさる篠竹を静かにかき分けると――。

「いた」一瞬鼓動が止まる。鯉である。しかも大物。

大きく息を吸い、止める。2尺(約60cm)程もあるように見えたその鯉は、微動だにしない。荘厳でさえあった。手にするヤスも忘れ、獲ろうとする意識もないままだその姿に見とれていた。いや、その王者の風格に圧迫されたのだ。鯉が勝ったのである。

やがて、かすかに尾が動き、鯉はゆったりと眼前からその姿を消した。

……少年に与えたこのときの感動は、大ワシとの出合いのときのそれとともに、その後ずっと心の引出しに大切に保管されていて、久慈川に会うと、そっとその戸があくのである。

#### ガキ大将

某月某日。帰省した海軍〇〇学校生徒のMさんが、一緒に久慈川で水泳をしていた子供達をあつめて、オゴソカに命令した。「これから紅白2隊に分れ攻防演習をする。やり方はカクカクシカジカ。夜襲戦をとり入れるぞ。絶対声は出すな。それから、オレのこの赤旗が上がれば赤軍が攻め、白旗が上がったら白軍が攻める。いいな。わかったら位置につけ」

こうして、10名程の腕白連は2隊に分れて攻防戦を開始した。白は箒畑に散開、身をかくし、赤はゴボウ畑の中をほふく前進する。やがて、赤は西瓜畑に出た。小隊長が旗の方を見ると、Mさんは手ぶりで西瓜をもぎとれと合図する。演習、いや夜襲の意味がわかった。小隊長が隊員に合図、隊員これに従う。

また旗を見ると、今度は白旗だ。退却である。替って白が前進。あとは旗なぞどうでもいい。獲物を手にした者は、勝手に身をかくす。

川にもどった一隊は、早速戦利品を腹中におさめた。食べ終って、Mさんは又オゴソカに命令した。「オレがいなときは、絶対にやってはいかん」



### バドミントンの楽しみ

企画指導係長  
海 野 弘 康

6月1日の異動により消費生活課から転入してきた海野です。よろしく申し上げます。

県勢発展のための基礎資料作りという統計の業務に従事することとなって緊張している毎日です。さて、「統計いばらき」に新入生を紹介するということですので私の小さな趣味を披露することとします。

私は、50歳に手のとどく年齢になって未だに県庁バドミントン部に籍をおいています。ただし、部員とは名ばかりの老兵です。

高さ約150cmのネットを挟みシャトルコックを打ち合うゲームで、自分の方のコート内の面積は約40㎡(ダブルスの場合)でテニスコートに比べると、はるかに小さいのですが、テニスと違ってシャトルコックを空中で打ち合うため、かなり素早い運動となります。一流プレイヤーのスマッシュの速さは時速200kmといわれるようにスピードのある羽根をとるときは素早い動きと鋭い感が要求されます。

バドミントンは、公式の競技会は屋内で行うことになっていますが、レクリエーションとして行う場合は、風さえなければ屋外でも結構楽しめます。小さな子供から年配の大人そして男女を問わず、また家庭の庭先などでもできますので、私は、日曜日など時間をみつけ、子供を相手に一汗かくことを楽しみとしています。



### 趣味への道

消費統計係長  
宮 本 正 大

私が能楽と言うものと初めて知ったのは10年程前のことである。たまたま雑用があって松戸市に在住していた姉の家を訪ねた際、当時能楽を楽しんでいた義兄が、今夕5時30分から東京の水道橋能楽堂で有名人の能が公演されるの

で一緒に親に行こうと無理やり誘われた。

その頃の私は、能楽などと言うものには関心はなかったのであったが余り熱心に誘うので、義兄のあとについて行ったのである。そのとき能舞台上で上演されたのは、仕舞、舞囃子数曲と、能「道成子」であった。勿論私は能楽の素養は全くなかったのであるが、番組の中の解説及び義兄の説明等で、この曲は女の恋の執念のすさまじさを扱ったものとして有名なものであることを知った。

さて、この「道成子」の能が舞台ではじまり、静かな中にも不気味さを帯びた囃子と共に演じられたこの能舞、執念の権化として登場した「シテ」(主役)の白拍子のすさまじい気魄。小鼓に合はせて左右の足を交互に踏むかすかにきこえる足音とともに静かに舞台を廻る「乱拍子」と言う舞は、激しい気合を内に蔵し、真剣勝負を思わせる緊迫感に溢れ、まさに気魄の闘争であると感じた。そしてこの静寂から一転して急調な囃子にのって急の舞にうつる火を吐くような気魄の激しさ。手をかえ品をかえての絶妙な演出に、素人の私はもとより観ている人達は全く静まりかえり、最後まで息をつく暇もないような緊張の連続の場面の展開に、私は強く心に印象づけられるものがあった。

これが動機で、その後半年位過ぎた頃、ある方からの誘いもあり、腹から声を出すので健康上にもよいということで能楽を趣味とするグループと共に謡曲を習い始めたものである。習い始めて3、4年たつうちに、静かな動き、単調とも思える謡の中に激しい感情を盛り込んでいる能そのものに益々興味を覚えると共に、芸の深さが無限であり、その深みにのめり込んで行くような気持になる。

一口に謡10年仕舞3年と言われているが、習えば習う程むずかしいと感ずる能楽である。しかし私達は「プロ」ではない。楽しみながらやればよいと言うことでやっているせいか、さっぱり上達しない乍らもいつの間にか教授免状を頂き、同好の者とともに共通の話題をもちながらこの趣味の道を続けている。



## 田舎ぐらし

消費統計  
金子典明

田舎に越してきて、早くも二カ月が過ぎる。

町の快適な生活に慣れてしまった私達にとって、田舎での生活は驚くことばかりである。雨が降ると水は濁り、下水がないので、ちょっと水を使い過ぎると庭や道路に汚水があふれて、大騒ぎをする。畑の桑の老木は毛虫の住み家となり、家の中まで侵入してくる。

三人の子供達は親の戸惑いなど気にならないらしく、まわりの畑や空を自由にかけまわっている。喘息がみで病気がちであった長女は田舎での生活が合っているのか一日一日と元気になってくるようである。人づき合いの悪い私もあるいは田舎での生活が向いているのかも知れない。長い間遠ざかってきた草花の栽培や小鳥や犬を飼いたいと思う。

知人から分けてもらったピーマンや茄子の苗も根づき小さな花が咲きはじめてきた。夏には大きな実をむすぶのを今から楽しみにしている。



## 眠れぬ夜のために

庶務  
小菅均

縋袍を蹴りつつ1時間と15分。暑い。体が何とも大儀。どうやら眠れないようです。困るな、明日もまた忙しいのに。よし、お呪いをひとつ、まず枕を持って……。

そう、呪いと言えはMというおかしな人を思いだします(おかしければ笑えばいいんだよという人もおりますが…)。Mは最近の若者には珍しい読書家であり愛書家です。夜も更けるころに、Mは本に囲まれた部屋の中で奇妙な儀式を行います。パジャマに着替え、蒲団にドックと腰をおろし、彼をとり囲む書物の背表紙をジックリと眺める。そうして、徐に立ち上がり、優しく本を撫で回る。こうした儀式を済ませてMは安心して眠りにつくのです。

Mの行為は奇妙と言えは奇妙です。その他Mの行為に限らず、この世には不合理、非科学的に見えるものがたくさんあります。確かにMの行為やその他縁起をかつぐことなどは一見ばかばかしいものと思いますが、こうしたものを単に不合理、非科学的なものとかたづけてしまっは、少し早計に過ぎると思います。

昔、「ポピ族の雨乞い」という話を聞いたことがあります。雨乞いは雨を降らすことを目的とする。目的に着目して、雨乞いを気象学的に見た場合には、雨乞いは全く非科学的としか言いようがない。しかし雨乞いの意図する目的から離れてその行為を見た場合には、雨乞いという儀式は各地に散在する部族民を集合させ、共同活動に参加する機会を与えることになり、部族民間の連帯感を強めるという隠れた機能を営むと見ることが出来る。こうした内容だったように思います。

とすれば、Mの奇妙な儀式また一般に縁起をかつぐということにも隠れた機能があると思われます。それを考えてみまするに……。おっと、余り考えてこれ以上眠れなくなつては明日に差し支えますので、この辺で失礼します。